

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こっこ		
○保護者評価実施期間	令和8年4月10日		～ 令和8年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和8年4月10日		～ 令和8年4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 地域に出向く、地域の資源の活用 親子行事が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のこども園との交流（解放の日や行事への参加等） 地域の公園や児童センターに通い、地域の資源を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のこども園との交流を継続し、地域での生活に繋げていく。 地域の資源の開発や『こっこ』を知ってもらう。また、両親にも地域の資源の共有ができるようにしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 有資格者が多い（保育士・看護師等） 障害者支援を経験した職員がいるので、先を見据えた支援を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 有資格者での個別サポートの支援を行っている。 看護師がいるので、医療面での安心した支援ができる。（両親、本人の相談に乗る事もできる） 今の支援だけではなく、一緒に将来を見据えて、今行うべき事等を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別サポートの強化を行っていく。 将来を見据えて、本人、家族が安心して生活できるように支援していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所が、隣にある。 社内に高齢者の事業や地域包括支援センターがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な面での相談を行っている。 卒業後のサービス等も知ることができるので、将来を見据えた相談に応じたり、こちらから提供することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な年代との交流の機会を継続して行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有、発信。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の申し送りを行っているが、支援の細かい内容の話し合いの機会が少ない。 行っている行事や活動の周知ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の内容の話し合いの時間をきちんと設定し、児発管を中心に行っていく。 LINEや事業所に来てもらう機会を増やしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 親子行事を定期的に設定して、参加者は増えてきているが、全く参加できない人もいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 開催日程の曜日や時間帯が合わない。 LINE等で案内を行っているが、きちんと見ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 開催内容によって、開催日時を設定していく。 LINEだけではなく、送迎時にも声掛けていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 将来を見据えての支援を考えていくことへの知識の不足 	<ul style="list-style-type: none"> 障害児の支援の情報や知識はあるが、卒業後の支援の情報や知識が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所との勉強会を行っていく。